



認定特定非営利活動法人 2016.5.17 Vol.107

日本災害救援ボランティアネットワーク

Newsletter

響想の社会をめざして

熊本地震



【先遣隊派遣】

4月14日(木)21時26分に発生した「熊本地震」の支援のため、4月15日(金)～16日(土)先遣隊を益城町(ましきまち)に派遣しました。益城町は熊本市より東側に位置し、震度7の強い揺れが観測された地域です。博多まで新幹線で、あとはレンタカーで移動しました。九州自動車道は植木インターから先が通行止めだったため植木インターで下車し、一般道で益城町を目指しました。熊本市内に向かう国道は大渋滞でしたがネットで迂回道を検索しながら向かい、14時過ぎに益城町役場に到着しました。被害の激しかった役場周辺を2チームに分かれて歩いてまわりましたが、至るところで家が倒壊しており、住民の皆さんは恐怖や不安などで、ただただその場に茫然と立ちすくんでおられる状況でした。その後、避難所になっている総合体育館へ移動し、また、益城町社会福祉協議会にも少し立ち寄らせていただきました。夜には熊本市内の宿舎にて、今後の対策についてメンバー間で打ち合わせを行いました。15日午前0時過ぎに就寝したのですが、1時25分に大きな揺れで全員飛び起きました。のちに震度7と訂正された【本震】を経験しました。長い揺れが一旦落ち着いたところで、従業員から「駐車場に避難して下さい」、との指示があり全員駐車場に避難しました。街中の電気は消えており、サイレンが鳴り響く中、5分おきぐらいに強い余震が襲ってきました。2時間ほどして別館の大広間に案内されましたが、絶えず余震が続き、仮眠もとれない状況で朝を迎えました。宿舎を出発し益城町に向かいましたが、熊本市内のガソリンスタンドには長蛇の行列ができており、昼食や飲み物を購入しようにもすべてのコンビニが閉鎖されていました。道路は至る所に亀裂や段差ができており、昼前に何とか益城町に到着しましたが、総合体育館の避難者は前日の倍以上にふくれあがり館内は人で溢れかえっていました。避難所に入れな

- c o n t e n t s -

- P 1 ~ 2 熊本地震
- P 3 V I S I O N 1 1 7 / 熊本地震・第1回現地活動報告会
- P 4 3.11東日本大震災5周年追悼式
- P 5 K S N プロジェクト / 佐用町訪問 / 丹波市防災研修会
- P 6 親子でわがまち探検隊 / 高木春まつり / 子ども防災クラブ
- P 7 Nうごき / Nごよみ / 会員・寄付者・募金者のみなさま
- P 8 会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記

かったり、余震の怖さや不安から多くの方が車内で生活をされており、駐車場も車と人で一杯の状態でした。一日目には余裕のあった救援物資や食べ物もほとんど無くなっており、大変な状況をまのあたりにしました。（先遣隊）

【第1回現地調査】

4月21日（木）～22日（金）熊本に先遣隊・第2弾が入りました。初日は、また博多駅からレンタカーで熊本を目指しました。九州自動車道は植木インターまでしか通れず、そこから県道などを通っていきました。まず、益城町総合体育館に立ち寄り、先に現地入りしていた関係者と合流し、地元の方々と交えて状況把握を行いました。大阪や岡山などからの応援の行政職員、あるいは、メディアやボランティアが多数来ている様子でした。夕方、益城町役場から約2キロ弱のところにある井関熊本製造所のグラウンドに設置された災害ボランティアセンターに立ち寄りました。社協会長や事務局長などにご挨拶したあと、関西広域連合から派遣された兵庫県職員の方や、天理教や曹洞宗の皆さんと情報交換を行いました。



翌22日は、朝一番で益城町の災害ボランティアセンターに顔を出し、兵庫県ボランティアプラザからのバスの皆様ともお会いしました。その後、中長期的な展開を念頭に、避難所になっている保健福祉センターや広安小学校などを訪れ、避難所の運営を担当されている先生やボランティアの方とお話をさせていただきました。保健福祉センターでは、部屋や廊下が避難者で満員の状況で、また、広安小学校では、各教室に避難者が生活されており、体育館にはたくさんの救援物資が届けられていました。その後、総合体育館にも少し立ち寄ったあと、熊本市内で関連団体との会合に出席しました。水道などのライフラインがまだ寸断されている地域が多く、大変な避難生活はこれからも続くと思われます。NVNADとしては、被災された方々に寄り添った活動を展開していければと思っています。（先遣隊・第2弾）

【第2回現地調査】

4月30日（土）～5月1日（日）熊本県に先遣隊・第3弾として、西宮市社会福祉協議会の職員や関西学院大学の先生とNVNADが熊本益城町に入りました。30日は、九州自動車道が全線開通しており、益城熊本空港インターから益城町災害ボランティアセンターに到着し、災害ボランティアセンターの運営に関わっているメンバーにお会いし情報交換のあと、被災地域を見てまわりました。そのあと、総合体育館で、熊本YMCAのスタッフと翌日の足湯の打ち合わせなどを行いました。総合体育館の避難所では段ボールのベッドが配布されていたり、屋外ではテント村が159張り設営されており、生活環境は少しずつ改善されている様子でした。

翌日は、総合体育館で、足湯の準備作業を行いました。お湯は、陸上自衛隊の皆さんからご提供いただき、10時過ぎから足湯をスタートし、体育館に避難されている皆さんがきていただき、地震のことや避難生活の大変さなど色々とお話をお聞かせくださいました。たいへん有意義な活動でした。NVNADとしては、これからも定期的に訪問し、被災された皆様に少しでも寄り添っていければと思います。（先遣隊・第3弾）

つきましては、これまでご支援をいただいてまいりましたみなさまに、いまいちど救援活動支援金のご寄付をお願いする次第です。なお、日本災害救援ボランティアネットワークは認定NPO法人（兵庫県）であり、寄付には税制上の優遇措置が適用されます。

【熊本地震募金受付口座】

ゆうちょ銀行（郵便振替）口座番号 00900 - 5 - 29560 名義 NVNAD国内支援口
三井住友銀行 西宮支店 普通 7022161 名義 NVNAD国内支援口
通信欄に「熊本地震」とご記入下さい。

なお、三井住友銀行に振り込んでくださる方は、カタカナの振込名しか把握できませんので、税制優遇を希望されます方は、ご一報くださるようお願い申し上げます。

お問い合わせ：日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）
電話 0798-34-9011

VISION 117

この度の熊本地震で犠牲となられました皆さまのご冥福をお祈りしますとともに、今も厳しい状況での生活を送られている皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

私ども日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）では、今回の熊本地震につきまして、発生直後から情報収集につとめ、被災地の現状と各種支援の実情を把握するために、4月15日から先遣隊5名を熊本県益城町に派遣しました。また、4月21日から25日、4月29日から5月1日にも現地にスタッフを派遣してきました。一方、4月17日、23日、24日には、西宮、大阪、京都で街頭募金をさせていただきましたところ、多くの方々からたくさんのご寄付を頂戴いたしました。さらに、全国の皆さまより、支援金を届けて頂きました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。NVNADでは、こうしたご寄付に込めて下さいました皆さまの想いを大切に現地での活動を展開していきたいと思っております。

先遣隊によれば、現地では、多くの家が倒壊し、避難所は満杯、救援物資はかなり集まりつつも食事が不足するなど、当然ながら震災直後の混乱が続いておりました。翌4月16日未明、今度は、阪神・淡路大震災と同規模の余震（本震）が発生し、熊本市内に宿泊していた先遣隊も宿泊先からの避難を余儀なくされました。明るくなってから再訪した益城町の様子は一変。昨日まで無事のように見えた家々も多くが倒壊す

るなど被害は格段に広がっていました。また、避難所からは人があふれ、救援物資を配布するボランティアの数も圧倒的に不足していました。さらに、未明の地震の被害は、益城町から南阿蘇村、さらに遠くは大分県へと拡がり支援態勢もより広域で考える必要を受け止めています。

NVNADでは、益城町を歩いて地域の皆さんとお話ししながらお手伝いするとともに、益城町周辺の皆さまとも情報交換をしつつ、益城町総合体育館避難所を運営されているYMCAさんとの関係作りを進めてきました。5月1日には、避難所で足湯をさせていただきました。足湯は、足が楽になることが第1の目的ではなく、足湯をしながら被災された方々と様々な会話をすることが目的です。今回も避難所での生活についてじっくりと聞かせていただき、今後の活動に活かせるように検討しているところです。一方、大阪大学の学生さんと連携し、益城町災害ボランティアセンターをお手伝いしつつ、全国からお越し頂いているボランティアさんのお気持ちが被災地に届くことを願った活動も継続しています。

今後は、何度も熊本を訪問し、被災地の方々に寄り添いながら息の長い支援・交流活動を展開して参ります。その様子は、ニュースレターも含めて、NVNADのホームページ、フェイスブック、ツイッターに掲載するとともに、19日の第1回現地報告会に引き続き、機会を捉えて、広く皆さまにご報告申し上げる所存です。会員の皆さまには、どうか引き続き、NVNADの熊本地震支援活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。（理事長 渥美公秀）

熊本地震・第1回現地活動報告会

4月19日（火）18:30~20:00、阪神尼崎駅前にあるNPO法人シンフォニーの会議室をお借りして、「熊本地震・第1回現地活動報告会」を開催しました。先遣隊として4月15日~16日に熊本県益城町に入りましたが、その時の移動経路や被災状況、また、避難所の様子や支援者の状況などについて、各約10分ずつで報告を行い、最後に質疑応答の時間を取りました。急きょ開催したにも関わらず、約60名以上の方がご参加いただき心より感謝申し上げます。熊本地震に関しては、地元の団体とも連携しながら中長期的な展開を模索していければと考えています。（事務局）



3.11 東日本大震災5年追悼式

～野田村ボランティアバス運行～

3月10日(木)～14日(月)の日程で、関西学院大学社会学部と共同で、岩手県野田村にボランティアバスを運行しました。今回の野田村訪問は「お礼とこれから」をテーマに、活動を行うこととなりました。午前中は生涯学習センターに於いて、「自分自身の震災当時をふりかえると共に、震災から5年を迎えた野田村の現状を知ろう」というテーマで、まち歩きを4グループに分かれて実施しました。その後、まち歩きで知ったことや感じたことなどを、写真なども活用しながらまとめ作業を行いました。

14時に役場前の体育館へ全員移動し、追悼式に参列させていただきました。追悼式では、地震が発生した14時46分に黙祷を捧げ、その後、犠牲者の遺族代表や村長などから弔辞が述べられ、最後に役場関係者や消防団など、参列者全員が順番に献花していきました。我々が野田村に初めて入ったのが2011年3月30日、当時の野田村の様子がつい最近のように思い起こされました。追悼式の終了後は、再度生涯学習センターに移動し、大阪大学や弘前大学主催のセミナーに参加し、チーム北リアスの一員として、この5年間の活動報告をさせていただきました。その後、午前中のまち歩きの発表を行い1日目の活動を終了しました。その後今日1日の活動をふりかえりました。

翌12日(土)は、まずチーム北リアスの現地事務所に移動し、そこで、仮設住宅を訪問するにあたっての心構えや注意点などを確認し、ハンドアロマの練習会なども行いました。10時前に、野田中仮設住宅と泉沢仮設住宅、そして、地元の農家のお手伝いに行くグループに分かれて活動を開始しました。仮設住宅の集会所をお借りし、たこ焼きやハンドアロマ、茶話会などを通じて仮設住宅の皆さんと交流をさせていただきました。野田村では復興住宅への移転が進んでおり、仮設住宅の入居者数がどんどん少なくなってきました。また、今回は2007年中越沖地震の被災地である新潟県刈羽村からも、刈羽村社会福祉協議会を中心としたボランティアの方々に来ており、この日の午前中は仮設住宅で一緒に交流活動をさせていただきました。夕方4時過ぎには活動を終了し、地元の道の駅に少し寄り、宿舎に戻り、今日のふりかえりをしました。

現地での活動最終日の13日(日)は、南浜の復興住宅にあるコミュニティセンターを拠点に、たこ焼きやハンドアロマ、茶話会などをチーム北リアスの写真班と共同で実施させていただきました。その他、前日行った農家のお手伝いの続きや、村内にある5カ所の復興住宅に戸別訪問させていただきました。野田村の皆さんには、我々のことを本当にあたたかく迎え入れていただき、これまでの5年間のお礼をお伝えするはずが、反対にお礼を言っていたいく場面も多く、感謝の言葉もありません。この5年間継続して活動させていただきましたが、果たしてどれだけ野田村の皆様役に立ったのか、不安な面も多く残っていますが、多くの方々との交流をさせていただき、つながれたことにお礼申し上げます。

5年が経過したと言っても、被災者の皆様にはそのような区切りはなく、大変な生活はまだまだ続くことと思いますが、我々の出来る範囲の中で、これからも野田村に通い、交流を継続させていただければと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)



KSNプロジェクト

2月20日（土）、西宮市総合福祉センター、および、福祉会館にて、KSN主催（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主体）で、県外避難の子どもたちを対象に学習会を開催しました。午前中は、参加者がおのおの持参した教材を使って大学生のリーダー（関西学院大学社会学部関ゼミ生）と一緒に問題に取り組んだり、折り紙遊びを楽しむ子どももいました。参加者全員で昼食を食べながら交流しました。その後、大学生リーダーが扮する鬼が登場しての豆まき合戦や、フルーツバスケットなどのゲームを楽しみました。佐用町へ行くために途中で退席してしまいましたが、今回も子どもたちと一緒に有意義な時間を過ごすことができうれしかったです。皆さん、ありがとうございました。（事務局）



佐用町訪問



3月19日（土）～20日（日）の日程で、兵庫県佐用町を訪問しました。相生駅から久崎に向かい、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）の大学生メンバーと合流、翌日の予定を確認しました。翌日、4回生5名は卒業制作としてベンチを作ってくれ、それ以外のメンバーはチャコ畑の手入れやきなこ餅づくり、あるいはカフェのピラ配りなどをしました。途中、竹炭焼きでいつもお世話になっている内海師匠が来て下さいました。地図はこちら 昼からカフェがスタート。この日は4回生の卒業式をするということで、チャコネットのOBやOGも電車で駆けつけてくれ、途中から地元主催の卒業式をしました。卒業生5名に卒業証書の贈呈があり、卒業生1人ひとりからの挨拶のあと住民の方5～6名から祝辞をいただきました。涙あり笑いありのとても素敵な卒業式で、最後に全員で記念写真を撮りました。今回の活動で4回生は卒業となりますが、これからも時々久崎にきてもらえればと願っています。久崎の皆様、ご参加いただきありがとうございました。（事務局）

丹波市防災研修会開催

3月7日（月）、丹波市にある兵庫県柏原総合庁舎にて、防災研修会が開催され、大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」の学生メンバー3名と一緒に参加しました。今回の防災研修会には、子育て広場の指導者が参加されており、防災の心構えについてのミニレクチャーを行ったあと、すずらんの学生メンバーの指導による「ぼうさいダック」というカードゲームと、防災ゲーム「クロスロード」という2つのプログラムを体験していただきました。対象が指導者の皆さんだったので、とても呑み込みが早く感心しました。ぜひ、各自の活動先で子どもたちに向けて実施していただければと思います。お招き下さった生涯学習応援隊SO-SO.39の北村様、ありがとうございました。（事務局）



親子でわがまち探検隊

3月5日(土)午前中、西宮の高木公園にて「親子でわがまち探検隊」を地元の皆様と一緒に開催しました。今回のプログラム内容は、①高木公園に設置してある「ぼうさい倉庫」の資機材の点検、②瓦木消防署の消防士による煙体験と消火訓練、③水道局による緊急貯水槽の説明と実地訓練、④非常食「五目ご飯」の体験試食、⑤NVNADによるタメになる防災クイズ、の5つです。当日は天候にも恵まれたく



さんの親子連れがご参加下さり、1つ1つのプログラムに真剣に取り組んで下さいました。



地震や水害などはいつ起こるか分かりません。いざという時には、まず自分自身や家族の身を守り、地域住民が協力し合ってお互いが助け合っていかなければなりません。今回の企画のように、防災について大人だけではなく、子どもたちも日頃から色々と体験しておくことがとても大切だと改めて感じました。ご協力いただきました瓦木消防署、水道局、防災啓発課の皆様、そして、高木地区の皆様、ご協力ありがとうございました。(事務局)



高木春まつり

4月17日(日)西宮市の高木公園にて恒例の高木春まつりが開催されました。



NVNADも参加させていただき、魚釣りゲームの実施と「平成28年熊本地震」の被災地である熊本県益城町被災風景写真の展示と募金活動を行いました。朝は暴風波浪警報が心配されましたが、途中から汗ばむような陽気となり、金魚すくいや輪投げなどの遊びブース、焼きそばや綿菓子などの飲食ブースが並び、子ども同士や親子連れなどでとてもにぎわいました。高木地区の皆様の団結力は素晴らしい！お手伝いいただいた学生ボランティアおよび子ども防災クラブの保護者の皆さん、ありがとうございました。(事務局)

子ども防災クラブ

3月5日(土)午後、高木小学校にて第6回子ども防災クラブを開催しました。今年度最後の活動のため、プログラムの前半は、1年間の映像を見たりクイズ問題にも挑戦してもらいながら活動をふり返りました。後半は、プラ版の思い出づくりをしました。今年度のテーマの「防災マスターを目指そう！」のキャラクターである「防災ウォッチ」と好きな絵を1人ひとりマジックで描き、オーブントースターで焼いてキーホルダーにしました。、それぞれの個性で素敵なものが出来上がり、皆勤賞授与のあと、記念写真を撮って活動は終了となりました。、子どもたちにとって有意義な一年であったと思います。参加してくれた子どもたち、およびご協力いただいた大学生リーダーの皆さん、1年間ありがとうございました。(事務局)



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

2月	20日	KSN学習会(西宮市)
	20日~21日	佐用町訪問(兵庫県)
	23日	丹波市前山地区活動報告会(兵庫県)
	23日	野田村ファンクラブ(西宮市)
3月	27日	泉南郡熊取町社会福祉協議会講演(大阪府)
	5日	親子でわがまち探検隊(西宮市)
	5日	第6回子ども防災クラブ(西宮市)
	7日	丹波市防災授業(兵庫県)
	10日~14日	野田村ボランティアバス(岩手県)
4月	19日~20日	佐用町訪問(兵庫県)
	2日	カレンダー市20周年記念懇親会(西宮市)
5月	3日	佐用町桜まつりに参加(兵庫県)
	10日	丹波市桜まつりに参加(兵庫県)
	15日	平成28年熊本地震先遣隊を派遣(熊本県上益城郡益城町など)
		募金(救援支援金)活動開始
	17日	高木春祭りに参加(西宮市)
	19日	平成28年熊本地震報告会(尼崎市)
	21~24日	平成28年熊本地震第1回現地調査(熊本県上益城郡益城町など)
	30~1日	平成28年熊本地震第2回現地調査(熊本県上益城郡益城町など)
	6~9日	平成28年熊本地震支援活動(熊本県上益城郡益城町など)
	13日	NVNAD理事会(西宮市)
	17日	ニュースNo.107発行



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

5月	19日	野田村ファンクラブのつどい(大阪市)
	25日	近畿ろうきん合同会議(大阪市)
	28日	NVNAD会計監査(西宮市)
	28日~29日	佐用町訪問(兵庫県)
6月	31日	防災マップ図上訓練(西宮市)
	18日	NVNAD通常総会(西宮市)
	25日	KSN学習会(西宮市)
7月	2日~3日	野田村ファンクラブ合宿
8月	3日~4日	防災キャンプ(兵庫県佐用町)
	17日	ニュースNo.108発行

~会員・寄付者・募金者のみなさま~

■継続会員のみなさま(2016年2月1日~2016年4月30日)

個人正会員 : 「継続」三好紀昭、齊藤秀子、北村英夫、米谷収、舟知正、桐山裕文、大井英臣、松野博、二宮英夫、新野幸次郎、萩野茂樹、森川博雄、池田直樹、三浪富士子、魚島侑子、片岡幸壺、谷原和憲、矢守克也、矢守恭代、南義彦、林幹高、堀川ふじ子、梶昌代、松本清子、田中正秀、田中みどり、山口元、岩瀬哲正、西川達夫、中村有美、ハツ塚としえ、萩原迪子、鶴田芳樹、鈴木勇、平木祐治、花岡豊、米山清美

個人賛助会員 : 「新規」藤ヶ谷壽一、朝井朋子、加藤謙介

個人賛助会員 : 「継続」金井佐稚子、秋山洋子、中川純子、谷渕啓子、池田秀樹、石井保江、忽那須美男、赤対泰、赤対美千代、山田明子、渡辺保、渡辺鶴子、石川智子、吉岡啓次、原田陽子、大里恵子、前内安一、平井芳明、金井絢子、中垣伸、中島久美子、谷孝大、志賀理恵、石川たか子、小林良彦・静子、玉巻真由美、竹下養子、渡辺由子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、荒銀昌治、荒銀和子、葉千鶴子、高橋聰子、島和子、上野由紀子、山田和子、葉田野野玲、渡辺清武、菅野秀徳

菅野好恵、渥美久栄、藤森町子、宮城久代、小栗優子、滝沢正彦、廣瀬輝男、三浪治子、鈴木憲一
田中恵子

法人正会員：「継続」日本労働組合総連合会大阪府連合会、株式会社関西技術コンサルタント

法人賛助会員：「継続」株式会社京佐興産

団体正会員：「継続」宗教法人真如苑、社会福祉法人光朔会オリンピア、にしのみや遊び場つくり会

■寄付者のみなさま（2016年2月1日～2016年5月2日）

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、シルバー人材センター、忽那須美男
山田明子、渡辺保、渡辺鶴子、新野幸次郎、吉岡啓次、池田直樹、掛水須美枝、西川達夫
渥美久栄、魚島侑子、小林良彦・静子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、高井宏子、宮城久代
平井芳明、マツナガセイコ、クボテラカズナオ、イヌイミキ、マツダテツヒロ、トサミチコ
イソノツネコ、三浪治子、鶴田芳樹、鈴木勇、小柴裕子
ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■募金者のみなさま（2016年2月1日～2016年5月9日）

「東日本大震災」松崎恵子、グッドスナカヤマヨシ、宗教法人真如苑、今井 千郎、大江 良一
フルツカ、尼崎武庫支所カレンダ―市にご来場の皆様、山岸春治

「関東・東北豪雨災害（常総市）」林 誠一、宗教法人真如苑

「平成28年熊本地震」青木孝文、小椋康成、澤村知子、長谷川雅章、和田花枝、吉村裕子、成川信子
三島裕紀、山岸春治、奥登紀子、医療法人社団「新生会」理事長 新澤章二、服部茂子、星野典子、大江良一
竹内研三、小林昌恵、山口恵子、西田紫乃、高橋聰子、貫牛利一、門脇重子、木村真、コンドウアキヒロ
中居楓子、森江京子、藤山亜莉沙、山崎寿子、岡田智加、堀まゆみ、西村桂子、三浦恵子、須藤あつこ
角田紀子、中谷香葉子、森田澄子、川分節子、永田素彦、竹本えり子、野村博子、富永初枝、多田和子
大法寺、浅岡仁、松原廣、金子厚雄、田中和子、蘆田知子、宮本由紀、小松宜子、松田一人
窪田直美、瀧野典之、伊藤尚子、田尻町ボランティア連絡会コミュニティサロン部会「チョボラッタ」
安間稔、小坂知代子、野田栄子、山見坂ゆき子、横田啓子、小松崎戴子、谷口喜代子
佐々木ひろ子、森脇浩二、鈴木茂子、岩田たか子、平谷真彦、野口栄一、河村信治、久保田聡
名取八栄子、小川健二、佐伯亜也子、平野民子、山浦誠、瑞慶覧つきえ、安野信行、藤谷啓子
藤谷英奈、樋口歩、吉川あゆみ、川崎啓、鶴田美紀代、中村文子、大江史郎、藤堂治雅
柳原行雄、田中稔昭、田中恵子、市川直樹、山田忠道、山岡熙子、永井香子、河野昌弘
2016年塩谷学生会卒業生一同、掛水すみえ、高井千珠、谷淵啓子、田守美智子、木下和寛
池田秀樹、パセリくらぶ代表 江守典子、街頭募金にご協力くださった皆様、高木まつりにご来場の皆様
ヨウコウシュウ、カワグチカズヨ、マツナガセイコ、カワグマコ、タロウ、ヤマカワマキ、タチカケトシユキ
イシツカユウコ、ナギラセイイチ、ヒラオカフサオ、ウエノフミオ、ウエヤマ、フルツカ、マツイハジメ
タニグチカズコ、コニシ、キタダマスオ、ニシヤマリサ、タナカタカヒロ、タテイシタダオ、ヨシダサカエ
キタオカヨシユキ、マスダアユミ、フジタシンヤ、イバラキヒロミ、クロベリョウコ、モチヅキヒロシ
スガサワアキコ、タシロキョウコ、スミダコウイチ、ワタナベユウコ、ウサミ、ナカイヒロキ
キシモトアヤ、イイヌママリコ、タナカミサ、コタニエイコ、ヨシカワハルヒコ、グッドスナカヤマヨシ
イトウトモヒロ

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

4月14日、16日と2度にわたり、熊本県益城町では震度7の激震により、多くの家屋が倒壊しました。水道や道路などのライフラインの復旧には時間がかかる模様で、避難生活も長引くことが予想されます。NVNADとしては、他団体とも連携しながら、中長期的な支援を考えています。阪神・淡路大震災の教訓を、少しでも熊本の被災地に届けられればと思います。（H・T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子